

## SDGsへの気づき～スピーチのつどいより～

校長 佐藤 義朗

2月7日に行われました、「スピーチのつどい」では、インドで生活しているが故の子どもたちの様々な思いや考え、願いを感じることができました。その中で、SDGsの目標に関連した発表がありましたので、それぞれの発表を抜粋して紹介させていただきます。

・インドにきて、道や海にごみ落ちてているのを見て、どうして拾わないんだろう？みんな気づいているはずなのに、と思いました。そして、インドに比べて日本は町がきれいだし、分別もちゃんとしていてすごいな、と日本の良さに気づきました。インドは人がたくさんいるのだから、一人一人がSDGsを意識して行動するようになれば、きっとインドもきれいな国になると思います。ムンバイ日本人学校でも、ペットボトル回収などに取り組んでいることを知って、わたしもこれから一緒に協力していきたいと思いました。【4年児童】

・災害は起こってほしくないけれど、起きてしまったときには少しでも被害を小さくできるように、たいさくをしておくことが大切だと学びました。また、たくさんの方が、みんなが安全に暮らせるように、いろいろなたいさくをしてくれていることを知りました。校外学習から帰った後、自分が住む地域にはどんな災害が起きる可能性があるのかを調べました。今回の校外学習で、僕たちが安心して過ごしているのは、たくさんの方がその安全を守るためにがんばってくれているからだを知って、ありがとうという気持ちになりました。

今、僕はムンバイに住んでいるので、ムンバイの災害についても調べてみたいです。そして、しっかりとそなえをしておきたいです。【4年児童】

・インドに来て、少し経ったころ、実際に、車でお出かけした時、インド人の女性が近づいてきて手のひらを見せて来ました。きっと何かほしいのだろうと思いました。正直怖くなって、目を合わせないようにしました。そしたら、別の方向から男の子が来て同じような動きをしていました。きっと、親子です。私にとって初めて見る光景でした。日本では見たことがなかったのでどうしていいのかわかりませんでした。私がインドに来て一番おどろいたことは、貧富の差が大きいことです。そこで私は、格差について調べてみることにしました。ジェンダーによる格差や保険医療格差、世代格差、民族格差。インドには、いろいろな格差があることを知りました。なんで、こんなにも格差があるのか疑問に思いました。私は、格差がない方が絶対がいいと思います。インド人だって日本人だって同じ人間です。（中略）私はどのような格差であっても減らしていくべきだと考えます。私になにかできることがあれば、やっていきたいですが、正直今は見つかっていません。そして、まだまだわからないこともたくさんあります。なので、まずは色々調べたりして原因などを理解していきたいです。【5年児童】

SDGsを柱とした令和6年度の教育活動が終わろうとしています。保護者の皆様、学校運営委員の皆様をはじめ多くの皆様から本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。



## みんなで社会科見学に行ってきました。



1月14日(火)、社会科見学として午前中は在ムンバイ日本国総領事館へ、午後からは現地校の Mount Litera School International に全校児童生徒で行ってきました。到着後、早速公邸で八木総領事からご挨拶をいただきました。領事館はインドにはムンバイを含めて4か所(その他チェンナイ・コルカタ・ベンガルール)あります。1943年築ということで、歴史や趣が感じられる建物でした。職員の皆さんからはインドに住む日本人が安心、安全に過ごせるように現地の政府や警察などと連携を図っていること、日本の企業が事業を拡大、展開できるように支援していること、インドの人たちに日本の良いところをたくさん知ってもらえるように広報活動に努めたりしていることなどの話がありました。また、普段は見られない事務室や執務室の風景、調理室やゲストルームなども見学することができ、大変貴重な経験となりました。



Mount Litera School International では獅子舞のいでたちで入校した日本人学校児童もいて、現地の児童生徒や先生方も初めてみる日本の文化に大喜び。厄を払うために頭を噛んでもらう姿も見られました。こちらではカフェテリアでお昼をごちそうになった後、施設や授業見学を行いました。小学部の児童たちは日本の伝統の遊びであるベーゴマ、だるま落とし、けん玉、あやとりなどを紹介。インドの子どもたちも悪戦苦闘しながら一緒に遊び、楽しいひと時を過ごしました。また、中学部の生徒はシルクロードについての講義を見学しました。その他にはスペイン語の授業を見学した生徒も。「スペイン語が上手だね。」と褒められたそうです。その後は体育館で文化交流を行いました。現地校からは校歌や歌、南インドの伝統ダンス、日本人学校からは校歌や落語、「ふるさと」の合唱を披露し、お互いのパフォーマンスに拍手喝采となりました。



## いつもありがとう。 スタッフ感謝デー!

いつも学校のために心を込めて仕事をしてきているインド人スタッフのみなさん。1月29日(水)に日頃の感謝を伝えようと、スタッフ感謝デーを行いました。当日行った「ジャンケン列車」や「伝言ゲーム」などではみんな大盛り上がり。特に「伝言ゲーム」では、イラストやヒンディー文字を伝えるのに、悪戦苦闘。たくさんの迷解答、珍解答が生まれてスタッフも大笑いでした。ダニヤワード(ありがとう)の気持ちが伝えられた素晴らしい時間でした。

